

(令和7年度)倫理委員会(臨床研究) 申請一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	申請日	研究・発表等	学会名等	課題・発表名	所属部門	職位	代表者名	審議日	判定	承認番号	理由欄	情報公開	利益相反
1	R7.4.15	研究		後期パーキンソン病の予後に関する他施設共同前向き研究	診療部	臨床研究部長	松本有史	R7.4.28	承認	MNH R5-36	左記番号にて承認済み 共同研究者・実施期間・eAPRIN受講のアップデートについて了承	—	なし
2	R7.4.17	発表	第79回国立病院総合 医学会	慢性期病棟に勤務する看護師の始業時と終業時の集中力と疲労の変化	看護部 南a		太田朋菜	R7.4.28	承認	MNH R6-12	左記番号にて承認済み 院内発表として承認していたものを国立病院総合医学会で発表することについて了承	—	なし
3	R7.4.18	研究		FUSを受ける患者とRF・DBSを受ける患者の不安について	看護部 中央3		佐々木貴絵	R7.4.28	承認	MNH R6-11	左記番号にて承認済み 主任研究者・共同研究者・eAPRIN受講のアップデートについて了承	—	なし
4	R7.4.23	研究・発表	第79回国立病院総合 医学会	高齢者におけるポリファーマシーの解消にむけて	薬剤部		木村舞貴	R7.4.28	取下	—	・主任研究者のeAPRIN受講が研究開始時点で未受講 ・情報公開書の記載内容に不備	—	—
5	R7.5.13	発表	第79回国立病院総合 医学会	リハ科に事務員を配置したことによる効果	リハビリテーション科		中山崇	R7.5.26	承認	MNH R7-1	倫理的問題はありません	—	なし
6	R7.5.14	研究		FUS治療を受ける患者に対する術前訪問の検討 ～タブレット端末を使用しての術前訪問を試みて～	看護部 手術室		佐藤千佳	R7.5.26	条件付承認	MNH R7-2	・「②対象及び方法」に「対象の選択・除外基準として、年齢範囲および認知症の有無等」を明記すること	—	なし
7	R7.5.15	研究		MEPA-ⅡRを活用した重症心身障がい児4例の個別療育の実践と効果	指導室		油井沙織	R7.5.26	条件付承認	MNH R7-3	・文書での同意を取り付けて6/15までに提出すること	—	なし
8	R7.5.9	研究	第79回国立病院総合 医学会	HIV患者における下痢症のFilmArray消化管パネルの有用性について	検査科		照井彩香	R7.5.26 R7.5.27(迅)	不承認	仙台MC 倫25-21(迅)	・eAPRINの受講が終了していないため	—	なし
9	R7.6.13	研究		学習ニードを反映させた教育計画が障がい者病棟に勤務する看護師に与える影響	看護部		小田木愛	R7.6.30 (メール)	承認	MNH R7-4	Google Forms を Google フォームに修正のこと	—	なし
10	R7.5.15	発表	第31回北海道東北地区重症心身障がい研修会	MEPA-ⅡRを活用した重症心身障がい児4例の個別療育の実践と効果	指導室		油井沙織	R7.6.30 (メール)	承認	MNH R-3で承認済み	—	—	なし
11	R7.5.15	投稿	医療機器学2025年8月号	埋込み型医療機器の現状と重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用梅込み型ポンプ	医局		安藤肇史	R7.6.30 (メール)	承認	—	条件付き承認：投稿前（出来る限り依頼総説締め切り1週間前まで）に臨床研究部宛てに原稿を提出すること。ただし患者個人情報を取り扱わない場合は不要。	—	なし
12	R7.5.15	発表	第27回日本医療マネジメントが学会	当院における地域包括ケアシステムに対する包括的取り組み	医局		安藤肇史	R7.6.30 (メール)	承認	—	—	—	なし

(令和7年度)倫理委員会(臨床研究) 申請一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	申請日	研究・発表等	学会名等	課題・発表名	所属部門	職位	代表者名	審議日	判定	承認番号	理由欄	情報公開	利益相反
13	R7.7.10	研究		頭蓋骨骨密度比の不均一が原因で治療効果を得られなかった一例	医局		仁村太郎	R7.7.28	条件付承認	MNH R7-5	「臨床研究審査申請書」8.データを管理するコンピューターについては、パスワードでの管理のほか「ネットワークから切り離されたもの」とすること。	—	なし
14	R7.7.15	研究		重症心身障がい児(者)病棟における骨折の要因の分析	看護部中央1		市川湧斗	R7,7,28	条件付承認	MNH R7-6	・「臨床研究審査申請書」3.③の開始年月については、倫理委員会承認”後”からとし、終了予定年月日は開始年月から1年以内のいずれかの日を明記すること。なお、1年を超える期間となる場合はあらためて研究期間の延長について承認を得ること。 ・「臨床研究審査申請書」7.については「症例報告」から「個別同意」に変更すること。	—	なし
15	R7.7.15	研究		気管切開下陽圧人工呼吸管理下にある筋委縮側索硬化症の肺炎発症の予防につながる看護ケアの分析	看護部南a		西夏美	R7,7,28	条件付承認	MNH R7-7	・「臨床研究審査申請書」3.③の終了予定年月日は開始年月から1年以内のいずれかの日を明記すること。なお、1年を超える期間となる場合はあらためて研究期間の延長について承認を得ること。 ・「臨床研究審査申請書」7.については「症例報告」から「個別同意」に変更すること。 ・「同意撤回書」の代理人署名欄は「代諾者」とし「続柄」を併記すること。	—	なし
16	R7.7.15	研究		訪問看護ステーションにおける、災害時訓練の実施 ～業務継続までの取り組みと課題～	看護部訪問看護		渋谷香織	R7,7,28	非該当	—	本申請は人を対象とする生命科学・医学系研究ではないため本委員会の審議対象ではない。学会発表する場合は「学会発表及び論文投稿申請書」にて申請をすること。	—	なし
17	R7.8.14	研究		筋委縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関与する因子の探索 JaCALS (Japanese Consortium Amyotrophic Lateral Sclerosis research)	医局		松本有史	R7.8.26	承認	MNH R4-37で承認済	—	—	なし

(令和7年度)倫理委員会(臨床研究) 申請一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	申請日	研究・発表等	学会名等	課題・発表名	所属部門	職位	代表者名	審議日	判定	承認番号	理由欄	情報公開	利益相反
18	R7.11.6	研究		外来患者の待ち時間に関する調査	看護部		大山宏美	R7.11.25	条件付承認	MNH R7-8	・「臨床研究審査申請書」6.の研究による対象者のリスク・負担に時間「(5分程度)」等と「心理的負担」等を記載すること。 ・「同申請書」3.③の実施期間は「承認後～令和8年9月30日」と修正すること ・「同申請書」8.の個人情報を用いる患者氏名とデータの取得方法・取り扱い・管理について、詳細に記載すること。PCを使用する場合にはその取り扱い・管理についても記載すること。それらを同意・説明文書にも詳記すること。 ・調査表回収後に同意が撤回された場合でも、撤回の対象となる調査表が判別できるように対照表等で管理し、その方法について「同申請書」8.および同意・説明文書に記載すること。 ・「外来待ち時間に関する調査」⑫について、「待てる理由」を「待っていただける理由」に修正する等、研究対象者に配慮する修正を加えること。 ● 修正後の申請書類は30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること	—	なし
19	R7.11.10	研究		治療成績向上のためのパーキンソン病振戦に対するoptimal target の検討について	医局	統括診療部長	仁村太郎	R7.11.25	条件付承認	MNH R7-9	・「臨床研究審査申請書」2.の共同研究者名について、所属施設における研究実施の承認がなされているかどうかを記載すること。(承認済の場合、それを示す文書写しを添付) ・「同申請書」3.③の実施期間について、2025/12/1を「承認後」とすること。 ・「同申請書」8.の個人情報を用いる患者氏名とデータの取得方法・取り扱い・管理について、詳細に記載すること。PCを使用する場合はネットワークから切断する等を追記すること。 ・「同申請書」12.のその他について、データの主解析者の院内での役職を記載すること。 ● 修正後の申請書類は30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること	○	なし
20	R7.11.11	研究		地域包括ケア病棟における入院患者の認知機能の現状把握と、適切なレクリエーションの検討 ～Mini-Cogを用いたスクリーニングを通して～	看護部		小平未矩	R7.11.25	条件付承認	MNH R7-10	・研究課題名を簡明とし、同意・説明文書の研究課題名と同一にすること ・「臨床研究審査申請書」3.②実施期間の「研究承認後(2025年10月見込み)」を単に「承認後」とすること(同意・説明文書等も同様に修正) ・「同申請書」4.②侵襲の程度 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲に(侵襲内容)を括弧で付記すること(例:3分ほどの時間的拘束と心理的負担) ・「同申請書」6.の研究による対象者のリスク・負担において、Mini-Cog実施により対象者に認知症ないしそのリスクが自覚され得るところから、その点について記載すること ・したがって、Mini-Cogの結果を対象者に知らせるか否か、3.②の方法および同意・説明文書に明記すること ・一般的に臨床研究結果を直接対象者に知らせることはないため、同意・説明文書では「研究結果を知りたい場合は」を削除し、「ご不明な点は」に修正するなど再考すること ・同意・説明文書にどのような臨床情報を診療録から収集するか、具体的に記載すること ● 修正後の申請書類は30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること	—	なし
21	R7.11.14	研究		訪問リハビリテーション利用者の在宅生活継続に関する要因の検討	リハビリテーション科		佐藤昌代	R7.11.25	条件付承認	MNH R7-11	・「臨床研究審査申請書」3.③の実施期間は「承認後～2026年3月31日」と修正し、同意・説明文書にも適用すること ・「同申請書」8.の個人情報を用いる患者氏名とデータの取得方法・取り扱い・管理について、PCを使用する場合はその取り扱いについて追記すること ● 修正後の申請書類は30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること	○	なし

(令和7年度)倫理委員会(臨床研究) 申請一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	申請日	研究・発表等	学会名等	課題・発表名	所属部門	職位	代表者名	審議日	判定	承認番号	理由欄	情報公開	利益相反
22	R7.12.12	研究		集束超音波治療における設定ターゲットの幾何学的評価と最適化に関する研究	医局	統括診療部長	仁村太郎	R7.12.22	条件付承認	MNH R7-12	・「臨床研究審査申請書」2.の共同研究者名について、所属施設における研究実施の承認がなされているかどうかを記載すること。(承認済の場合、それを示す文書写しを添付) ・「同申請書」3.③の実施期間について、2025/12/1を「承認後」とすること。 ・「同申請書」12.のその他について、データの主解析者の院内での役職を記載すること。 ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること	○	なし
23	R7.11.17	症例報告	日本神経学会 東北地方会	レビー小体型認知症との鑑別を要した最遅発性統合失調症様精神病の一例	医局	脳神経内科医	張替宗介	R7.12.22	条件付承認	MNH R7-13	・症例報告同意書を添付すること。 ・「臨床研究審査申請書」3.③の実施期間は「承認後～2026年2月28日(日本神経学会東北地方会開催日)」と修正し、同意・説明文書にも適用すること	―	なし
24	2026/1/6	研究		レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査	医局	統括診療部長	仁村太郎	2026/1/26	条件付承認	MNH R7-14	・「臨床研究審査申請書」3.③の実施期間について、「承認後より2026/3/6(予定)」とあるのを「承認後より2027/3/6(予定)」が適切か確認の上、必要時修正すること ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の実施許可を得てから開始すること。	○	なし
25	2026/1/13	症例報告		自宅退院を目指す患者と家族への退院支援・調整の振り返り	地域医療連携室	看護師	永沼優	2026/1/26	承認	MNH R7-15	・症例報告として倫理的問題はありませんが、病院長の実施許可を得てから開始すること	―	なし
26	2026/1/14	研究		脳深部刺激術後のリード周囲脳浮腫の発生頻度とリスク因子に関する前向き他施設観察研究	医局	統括診療部長	仁村太郎	2026/1/26	条件付承認	MNH R7-16	・中央一括審査が終了した後、審査結果の写しを当倫理委員会に提出すること ・その上で病院長の実施許可を得てから開始すること	―	なし
27	2026/1/15	論文投稿	臨床神経学 (Clinical Neurology)	Addendum to the 2023 Clinical Practice Guidelines for Amyotrophic Lateral Sclerosis in Japan: Approval and Integration of Novel Disease-Modifying Therapies	医局	副院長	割田仁	2026/1/26	非該当	―	―	―	―
28	2026/1/15	症例報告		低栄養状態で褥瘡が発生した患者への食事量増加に向けたかかわり	看護部 中央4	看護師	齋藤愛理	2026/1/26	条件付承認	MNH R7-17	・「臨床研究審査申請書」3.①の研究背景及び目的について、6/2と月日まで記載するのは患者の特定につながるので日時は年月までの表記までに止めること。 ・同申請書3①研究の背景及び目的について、「本人の意思を尊重した関わり」について具体的に記すこと。 ・同申請書3.②対象及び方法について、「90歳代男性」を「90歳 代 男性」に訂正すること。 ・同申請書3.②対象及び方法について、褥瘡悪化を防ぐため行った介入について具体的に記すこと。 ・同申請書3.③実施期間について、終了日を年月日で表記すること。 ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の実施許可を得てから開始すること。	―	なし
29	2026/1/15	症例報告		OFF状態により尿意の訴えが上手くできない患者との関わり～排泄パターン把握のための関わり～	看護部 中央3	看護師	渡辺朋花	2026/1/26	条件付承認	MNH R7-18	・「臨床研究審査申請書」3.①の研究背景及び目的について、「A氏」という記載は止めること。この症例をケーススタディーとして取り上げることとした一般的な背景を記し、ケーススタディとして報告する目的を全般的に書き直すこと。 ・同申請書3.②対象及び方法について、対象、方法を書き直すこと。「オン状態時～曖昧である。」の内容については簡略にまとめ、①の研究背景及び目的の項に内容を盛り込むこと。 ・同申請書3.③実施期間について、終了日を”日”まで記載すること。 ・同申請書10.主任研究者の倫理研修(eAPRIN)の受講の有無については、eAPRIN終了日に”年”を記載すること。 ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の実施許可を得てから開始すること。	―	なし

(令和7年度)倫理委員会(臨床研究) 申請一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	申請日	研究・発表等	学会名等	課題・発表名	所属部門	職位	代表者名	審議日	判定	承認番号	理由欄	情報公開	利益相反
30	2026/1/15	症例報告		終末期患者の安楽に向けた関わり ～抑制解除に向けて～	看護部 中央4	看護師	鈴木愛理	2026/1/26	条件付 承認	MNH R7-19	・「臨床研究審査申請書」3.①の研究背景及び目的について、記載が感想調になっているので、この症例をケーススタディーとして取り上げることとした一般的な背景を記し、ケーススタディとして報告する目的を全般的に書き直すこと。 ・同申請書3.②対象及び方法について、看護記録、計画、カンファレンス、プロセスコードを用いてどのように検討するのか具体的に記すこと。 ・「臨床研究審査申請書」3.③実施期間について、終了日を年月日で表記すること。 ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の実施許可を得てから開始すること。	—	なし
31	2025/11/26	研究計画変更		FUSを受ける患者とRF、DBSを受ける患者の不安について	看護部 中央3	看護師	佐々木貴絵	2026/1/26	条件付 承認	MNH R6-11 で承認済	・症例報告の変更申請として「臨床研究審査申請書」3.③実施期間について、終了日を”日”まで記載すること。 ● 修正後の申請書類は倫理審査結果通知書を受け取ってから30日以内に再提出し、研究の実施は当会の承認のみならず、病院長の承認を得てから開始すること。	—	なし